

自民党の独裁政治を打ち破り、労働者・国民の願いが通る国会を

総選挙闘争アピール（案）

愛知の労働者・県民のみなさん。

公示が明日に迫った総選挙は、18日の投票をめざし、事実上終盤戦に入っているとされます。

この選挙は、昨年の参議院に続いて衆議院でも自民党の絶対多数を打破し、政治を国民の手に取り戻す絶好のチャンスです。ここ愛知は衆議院の議席22のうち、半数の11議席を自民党が占めています。

また、総理大臣の地元でもあります。この愛知で自民党の敗退を勝ちとることは、全国的にも大きな意義があります。

労働者・県民のみなさん

日本は「世界一の金持ち国」といわれています。しかし富んでいるのは大企業とごく一部の資産家だけです。大多数の国民は、突出する軍事費の圧迫を受け、消費税による増税、劣悪な社会保障、教育の荒廃、暴騰する地価や住宅費に苦しみ「豊かさ」とは無縁の暮らしを強いられています。

大企業は史上最高の利益をあげて金あまりだというのに、労働者は低賃金と長時間・過密労働、人減らし「合理化」、職場のしめつけと差別に苦しめられ、過労死の不安も増大しています。

このような現実には、私たちに負担と犠牲を押しつけ、アメリカと大企業の利益を優先させる積年の自民党政治の結果であり、一部の野党を抱え込んだ「密室政治」、金権腐敗政治の根もここに 있습니다。

こうした自民党政府と財界の政策を陰に陽に助けてきた「連合」など右より労働組合の責任も重大です。

労働者・県民のみなさん。

いま、「国民が主人公となった政治」への大きなうねりが世界をおおっています。東欧では自由と民主主義を求める闘いが前進し、チリでは軍事独裁政治が打ち倒されました。

日本でも消費税、金権腐敗政治、コメ輸入自由化問題などに対する国民の怒りが参議院で自民党の初の過半数割れをもたらしました。

今度の総選挙はこの流れをいっそう大きくし、衆参両院とも国民の願いが通る国会にする絶好のチャンスです。総選挙での勝利は消費税の廃止をはじめ国民要求を大きく前進させ、全国一律最賃制や労働時間短縮、完全週休2日制などの法制化をも可能にし、90年春闘での大きな飛躍にもつながるでしょう。

私たち愛労連は特定政党支持の立場はとりません。組合員の政党支持の自由、政治活動の自由を保障します。しかし、この歴史的政治戦に無関心であることは許されません。

政治の現実と私たちの切実な要求をみんなで語り合い、職場で、家庭で、地域で各政党・候補者の政策を討議し、自民党政治への批判と怒りをさらに広げ、ともに要求をたたかえる政党・候補者の前進のために奮闘しましょう。

80年代の「戦後政治の総決算」路線を押し返し、希望あふれる90年代を切り開く出発点として、みんなの力で総選挙の勝利をかちとりましょう。

1990年2月2日

愛知県労働組合総連合
1990年度臨時大会